

調査委員会における調査研究報告書

教科名（特別の教科 道徳）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（教育出版） 発行者番号（ 17 ）	発行者（光村図書出版） 発行者番号（ 38 ）
1 内 容	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「いじめのない世界へ」「いのちを考える」の2種類設定されている。 ②「多様性」については、第1学年でパラスポーツと外国人の人権、第3学年でセクシュアル・マイノリティとジェンダー問題に関する教材がある。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。第1学年で「阪神・淡路大震災」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年でユニットの最初に扉のページを設け、3本の教材のうち漫画の教材が1本ある。第1学年で何がいじめであるか、第2学年でいじめる方の立場と責任について、第3学年でいじめをなくすためにできることについて考えさせる教材になっている。 ⑤「情報モラル」については、全学年でSNSに関する教材がある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右上に、学習のテーマを問いかける言葉で簡潔に示し、考えをメモできる「つぶやき」欄を設け、最後に「考えよう」「見つめよう」の2つの発問がある。	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」の3種類設定されている。 ②「多様性」については、第1学年と第2学年で合理的配慮や発達特性、第3学年で外国人や性的少数者などの人権に関する教材がある。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。第1学年で災害体験者の意見、第2学年で「関東大震災」、第3学年で「東日本大震災」「集中豪雨」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年ユニット学習で2本の教材がある。第1学年で様々な立場から、第2学年で相手の気持ちについて、第3学年で差別や偏見をなくすことについて考えさせる教材になっている。 ⑤「情報モラル」については、第1学年と第2学年でSNSに関する教材、第3学年で歩きスマホに関する教材がある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右下に質問形式の導入を記し、最後に「学びの道しるべ」で3段階の発問がある。	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「中学生として、どんな自分でありたい?」「いじめを許さない心について考える」「よりよい学校生活を送るためには?」など9種類設定され、全ての教材がいずれかのユニットに当てはめられている。 ②「多様性」については、全学年で様々な人権についての教材があり、第2学年でマイノリティに関するコラムがある。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。第1・第3学年で「東日本大震災」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年ユニット学習で3本の教材がある。第1学年にはいじめの状況について漫画の教材が1本あり、第2学年で「いじり」について、第3学年で他者との関わり方について考えさせる教材がある。 ⑤「情報モラル」については、全学年でSNSに関する教材がある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右上に内容項目を明記し、最後に学びのテーマに沿って考えさせるために具体的な2つの発問がある。
2 構成・分量	①目次の他に、内容項目を4つに分類した一覧表がある。 ②内容項目の分量は、「主として自分自身に関すること」が全学年7、「主として人との関わりに関すること」が全学年7、「主として集団や社会との関わりに関すること」が全学年14、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が全学年7である。 ③ページ数は第1学年197ページ、第2・第3学年205ページである。 ④教材の数は全学年35である。 ⑤冒頭に道徳の時間について解説したページがある。 ⑥付属として学習の記録を記入するページ、心情の変化を表せる心情円（切り離して活用）がある。 ⑦別冊ノートは付いていない。	①目次の他に、内容項目別教材一覧表とテーマを7つに分類したページがある。 ②内容項目の分量は、「主として自分自身に関すること」が第1・第2学年8、第3学年7、「主として人との関わりに関すること」が第1学年8、第2学年7、第3学年6、「主として集団や社会との関わりに関すること」が第1学年12、第2学年14、第3学年13、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が第1学年7、第2学年6、第3学年9である。 ③ページ数は第1学年200ページ、第2・第3学年192ページである。 ④教材の数は全学年35である。 ⑤冒頭に道徳の学び方、学習端末の活用手引きを示したページがある。 ⑥付属として学習の記録を記入するページがある。 ⑦別冊ノートは付いていない。	①目次の他に、内容項目別教材一覧表と22のキーワードを示したページがある。 ②内容項目の分量は、「主として自分自身に関すること」が第1・第2学年7、第3学年9、「主として人との関わりに関すること」が第1学年6、第2学年7、第3学年6、「主として集団や社会との関わりに関すること」が第1・第2学年12、第3学年11、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が第1学年8、第2・第3学年7である。また全学年共通で内容項目を指定しない教材が2つある。 ③ページ数は第1学年184ページ、第2・第3学年192ページである。 ④教材の数は第1・第2学年35、第3学年34である。 ⑤冒頭に道徳学習の学び方を示したページがある。 ⑥付属として学習の記録を記入するページがある。 ⑦別冊ノートは付いていない。
3 表記・表現	①文字の大きさは、12ポイントである。 ②目次ページ・各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年88、第2学年90、第3学年68である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年123、第2学年136、第3学年114である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年13、第2学年8、第3学年9である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年15%、第2学年11%、第3学年23%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。	①文字の大きさは、12ポイントである。 ②目次ページ・各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年70、第2学年58、第3学年61である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年102、第2学年85、第3学年75である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年1、第2学年2、第3学年3である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年28%、第2学年32%、第3学年36%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。	①文字の大きさは、12ポイントである。 ②目次ページは内容項目の視点ごとに色分けされていない。各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年71、第2学年68、第3学年82である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年111、第2学年104、第3学年117である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年6、第2学年4、第3学年10である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年17%、第2学年20%、第3学年18%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。
4 使用上の便宜	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。年間35時間の教材一覧表があり、教科との関連が示されている。 ②巻末に学期ごとの振り返りシートが付属している。また、切り取り式の学習ツール「心情円」が付いている。 ③問題解決的・体験的な学習を促す「Plus」というページがある。各教材に生徒の思ったこと、考えたことなどを自由に記述できる「つぶやき」という記述欄がある。 ④幅の広いA4サイズ版で製本。UDフォント、色覚特性適応デザイン、軽量紙を使用。 ⑤デジタルコンテンツには朗読音声、ワークシート、映像資料、関連他教科の教科書紙面などが収録されている。デジタルの「心情円」が収録された教材もある。	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。年間35時間の教材一覧表があり、他教科との関連が示されている。 ②巻末に学期ごとと一年間の振り返りシートが付属している。また、「よりよく生きる」ことについて考えを深めるワークシートがある。 ③問題解決的な学習を促す「ひろば」というページがある。別に、ロールプレイなどの体験的な学習を促す「やってみよう」というページがある。 ④UDフォント、カラーUD使用。表紙に抗菌加工が施されている。 ⑤デジタルコンテンツには教材の解説と関連する内容のサイトへのリンクがある。動画資料が少ない。第2学年の一教材のみにデジタルの「心情メーター」が収録されている。	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。年間35時間の教材一覧表があり、他教科との関連が示されている。 ②巻末に、一年間の始めと終わりの記録、一時間ごとのメモができる「まなびの記録」が付属している。 ③「まなびをプラス」の教材には、全学年にロールプレイなど体験的な学習を促す課題が設定されている。 ④UDフォント、堅牢で薄い紙を使用。 ⑤デジタルコンテンツには、朗読音声、画像付き解説資料、インタビュー資料、動画が収録されている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（特別の教科 道徳）		No. 2	
調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（ 116 ）	発行者（Gakken） 発行者番号（ 224 ）	発行者（あかつき教育図書） 発行者番号（ 232 ）
1 内 容	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」の2種類設定されている。 ②「多様性」については、第1学年で発達特性や性、第3学年で障がい者の社会参画に関する教材がある。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。第1・第2学年で「阪神・淡路大震災」、第2・第3学年で「東日本大震災」、3学年で津波に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年でユニットの最初に扉のページを設け、第1学年で6本、第2学年で5本、第3学年で4本の教材と「視野をひろげて」というコーナーがある。第1学年でいじめの状況や互いの立場と気持ち、友情、第2学年で状況や立場を変えて考えること、第3学年で人との関わり方について考えさせる教材がある。 ⑤「情報モラル」については、全学年でSNSに関する教材があり、第3学年にはAIに関する教材もある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右上に学びのキーワードを示し、最後の「考えてみよう」「自分にプラスワン」で中心発問例などがある。	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「SDGs 持続可能な世界のために」「多様性 色とりどりに輝く」「キャリア 未来に向かって」の3種類設定されている。 ②「多様性」については、全学年でユニットの最初に扉のページを設け、3本の教材が発達段階に合わせて収録されている。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。全学年で「東日本大震災」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、ユニット化していないが、関連する各教材のタイトルの下に「いじめ防止」のマークを設け、第1学年で8本、第2学年で7本、第3学年で6本の教材を収録している。第1学年で学校生活を扱った教材、第2学年で漫画の教材、第3学年で相手の立場を考える教材がある。 ⑤「情報モラル」については、全学年でSNSに関する教材がある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、主題などの明記はないが、全ての教材のタイトルの下にキーフレーズを示し、考えをメモできる「メモ」欄を設け、最後に「考えよう」で2つの発問をしている。	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「いじめを考える」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」の4種類設定されている。 ②「多様性」については、ユニット学習になっており、全学年で障がい者との共存に関する教材がある。 ③「安全・防災」についての教材は全学年である。第1学年で「阪神・淡路大震災」、第2・第3学年で「東日本大震災」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年でユニットの最初に扉のページを設け、第1学年で3本、第2学年で2本、第3学年で2本、その他に関連教材を第1学年で3本、第2学年で2本、第3学年で3本収録している。第1学年でいじめの状況、第2学年でいじめられる側の気持ち、第3学年で様々な関わり方について考える教材がある。 ⑤「情報モラル」についてはユニット学習になっており全学年でSNSに関する教材がある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右上に内容項目の視点を示すマークのみを記し、最後に主体的な学びを促す「自分を見つめて考える」か、対話的な学びを促す「いろいろな見方で考える」のどちらかと、「考えを深める」の2つの発問がある。
2 構成・分量	①目次と内容項目別教材一覧表がある。 ②内容項目別の分量は、全学年共通で「主として自分自身に関すること」が7、「主として人との関わりに関すること」が7、「主として集団や社会との関わりに関すること」が第1・第2学年14、第3学年15、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が第1・第2学年8、第3学年7となっている。 ③ページ数は第1学年176ページ、第2学年184ページ、第3学年192ページである。 ④教材の数は全学年35である。ただし第1・第2学年はミニ教材を合わせると36である。 ⑤冒頭に道徳科での学びを解説したページがある。 ⑥付属として別冊ノートに学習の記録を記入するページがある。 ⑦別冊ノートが付いている。	①目次とテーマを12に分類したページと内容項目別教材一覧表がある。 ②内容項目の分量は、全学年共通で「主として自分自身に関すること」が8「主として人との関わりに関すること」が7、「主として集団や社会との関わりに関すること」が第1学年13、第2学年12、第3学年13、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が第1学年7、第2学年8、第3学年7である。 ③ページ数は第1学年187ページ、第2学年191ページ、第3学年195ページである。 ④教材の数は全学年35である。 ⑤冒頭に道徳科で学ぶことを示したページがある。 ⑥付属として学習の記録を記入するページがある。 ⑦別冊ノートは付いていない。	①目次と内容項目を4つに分類した一覧表及び10のテーマに整理したページがある。 ②内容項目別の分量は、全学年共通で「主として自分自身に関すること」が8、「主として人との関わりに関すること」が7、「主として集団や社会との関わりに関すること」が12、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が8となっている。 ③ページ数は全学年共通184ページである。 ④教材の数は全学年35である。 ⑤冒頭に道徳の時間について示したページがある。 ⑥付属として学習の記録を記入するページがある。 ⑦別冊ノートは付いていない。
3 表記・表現	①文字の大きさは、11ポイントである。 ②目次ページは、内容項目の視点ごとに色分けされていない。各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークと作者写真、登場人物のイラストがある。 ④資料写真数は、第1学年77 (10) 第2学年103 (12) 第3学年100 (14) である。 ⑤イメージイラスト数は第1学年181 (25) 第2学年152 (23) 第3学年150 (19) である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年12 (0)、第2学年15 (0)、第3学年15 (0) である。※ () 内は別冊ノートの数を表している。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年3%、第2学年5%、第3学年9%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。	①文字の大きさは、11ポイントである。 ②目次ページ・各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年92、第2学年94、第3学年95である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年150、第2学年138、第3学年111である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年9、第2学年5、第3学年2である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年4%、第2学年7%、第3学年13%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。	①文字の大きさは、12ポイントである。 ②目次ページは、内容項目の視点ごとに色分けされていない。各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年80、第2学年82、第3学年98である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年107、第2学年104、第3学年114である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年3、第2学年6、第3学年12である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年20%、第2学年16%、第3学年11%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。
4 使用上の便宜	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。年間35時間の教材一覧表があり、他教科との関連が示されている。 ②教科書本冊に振り返りシートのようなものは付属していないが、全学年に『道徳ノート』が付属しており、各教材に生徒の考えを記録し、振り返ることのできる記入欄と学期ごとの振り返り記入欄がある。 ③中学生が直面する題材で、道徳と他教科をつなげるコラムがある。 ④UD フォント使用。 ⑤デジタルコンテンツは、教材ごとに内容が異なり、朗読音声、ワークシート、インタビュー映像、画像資料、関連資料などがある。また、道具箱に心情メーターなどの思考ツールがデジタルで作成できるコンテンツが収録されている。	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。年間35時間の教材一覧表がある。 ②巻末に学期ごとの振り返りを記録する「学びの記録」と一時間ごとの学習内容を記録する「学びのメモ」が付属している。 ③教材ごとにメモ欄が設けられている。また、社会的な問題を題材とした「クローズアップ」や「深めよう」において、生徒の考えを記入する欄やロールプレイなど 体験的な学習を促す課題が設定されているページがある。 ④幅の広いA4 サイズ版で製本。UD フォント使用。 ⑤デジタルコンテンツは、思考ツールを使ったワークシート、画像資料、動画などで、朗読音声は未収録。ただし、全ての教材にコンテンツが付属しているわけではない。	①内容項目一つにつき、1～3時間の内容がある。全学年で同じ軽重となっており、任意の内容項目に「Thinking」というコラムが適配されている。年間35時間の教材一覧表がある。現代的な課題や他教科との関わりが示されている。 ②巻末に学期ごとの振り返りを記録する「学習の記録」と年間を振り返る「1年間の学習の記録」が付属している。 ③「MY PLUS」という問題解決的・体験的な学習を促す教材と設問のページがある。 ④UD フォント、カラーUD 使用。 ⑤デジタルコンテンツは、導入・週末のための動画や資料動画、web リンクで構成されている。ただし、全ての教材にコンテンツが付属しているわけではない。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（特別の教科 道徳）

No. 3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本教科書） 発行者番号（ 233 ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	①複数の教材で連続して学びテーマについて考えを深めるユニット学習が、「いじめ・人権」「キャリア形成」「情報」「国際」などの8種類設定されているが、教材は連続して掲載されていない。 ②「多様性」については、第2学年で「生きづらさ」、第3学年で「意識や価値観の多様化」に触れた教材がある。 ③「安全・防災」については、第2学年で「阪神・淡路大震災」、第3学年で「東日本大震災」に関する教材が収録されている。 ④「いじめ」については、全学年で「いじめ・人権」というテーマを設けて第1学年で4本、第2学年で4本、第3学年で3本収録している。第1学年でいじめと向き合うこと、第2学年で様々な立場から、第3学年で行動にしていくことについて考える教材がある。 ⑤「情報モラル」については、全学年でSNSに関する教材があり、第2学年にはAIに関する教材もある。 ⑥生徒の主体的な学習を促すために、全ての教材のタイトルの右上に内容項目の視点を示すマークのみを、「ウェルビーイングカード」に適した教材にはタイトルの下にカードのマークを記している。最後に「①考えよう」「②深めよう」の2つの発問と「memo」欄を設けている。		
2 構成・分量	①目次とテーマを8つに分類したページがある。 ②内容項目の分量は、「主として自分自身に関すること」が第1学年8、第2学年7、第3学年9、「主として人との関わりに関すること」が第1学年7、第2学年6、第3学年7、「主として集団や社会との関わりに関すること」が第1学年13、第2学年15、第3学年14、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」が第1学年6、第2学年6、第3学年4である。 ③ページ数は第1学年156ページ、第2・第3学年160ページである。 ④教材の数は全学年34である。 ⑤冒頭に道徳授業を創り出そうと題し、ウェルビーイングカードが活用できる教材がある。 ⑥巻末にウェルビーイングカードが付属されている。 ⑦別冊ノートは付いていない。		
3 表記・表現	①文字の大きさは、12ポイントである。 ②目次ページ・各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ③各資料のタイトルページに、内容項目のマークがある。 ④資料写真数は、第1学年52、第2学年46、第3学年62である。 ⑤イメージイラスト数は、第1学年61、第2学年55、第3学年50である。 ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数は、第1学年4、第2学年3、第3学年5である。 ⑦文字のみのページの割合は、第1学年32%、第2学年41%、第3学年39%である。 ⑧各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。		
4 使用上の便宜	①内容項目一つにつき、1～2時間の内容があり、各学年で軽重が異なる。 ②教科書本冊に振り返りシートのようなものは付属していないが、意見共有や話し合いの際に「ウェルビーイングカード」使用することができる。 ③教材ごとにメモ欄が設けられている。 ④UDフォント使用。幅の広いA4サイズ版で製本。 ⑤デジタルコンテンツは、動画、画像、外部リンクで構成。動画は各学年1本。		

